

地域ICT利活用普及促進セミナー

マイナンバーカード活用による電子お薬手帳

『南国市健康ポータル』

高知県南国市情報政策課 崎山 雅子

南国市の現状と課題



南国市における課題

少子高齢化

- 27年度国勢調査における65歳以上人口比29.6%

健康寿命

- 全国的に見て低い健康寿命

生活習慣病の割合と健診率

- レセプト分析では医療費の5割近くが生活習慣病
- 特定健診の健診率が国の目標60%に対し、33.2%〔平成26年度〕

周産期死亡

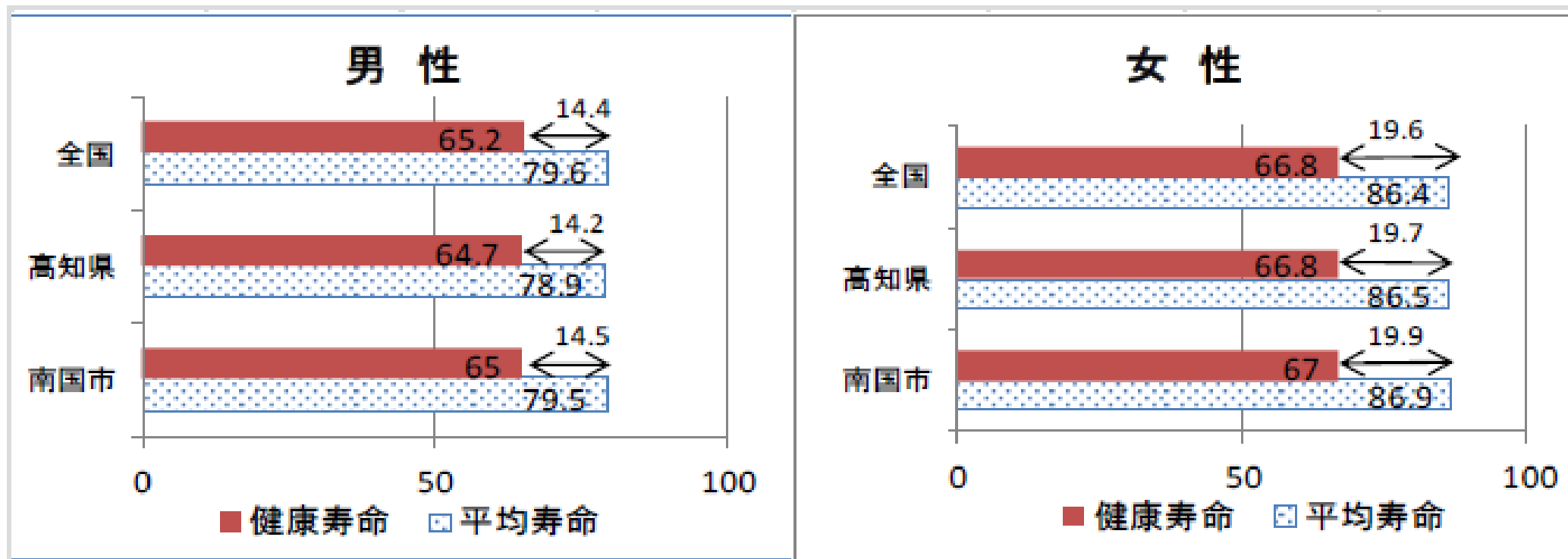
- 全国平均の2.7倍〔平成25年〕

南海トラフ地震

- 30年以内の発生率70%

男女とも低い健康寿命

【国保データベースシステムによる平均寿命・健康寿命】（平成26年）



平均寿命と健康寿命の差 男性は14.5 歳、女性は19.9 歳

厚生労働省発表分の健康寿命

参考：厚生労働省発表の健康寿命（平成 25 年）

	平均寿命		健康寿命		日常生活に制限のある期間	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全 国	80.21	86.61	71.19	74.21	9.02	12.4

参考：厚生労働省発表の高知県の健康寿命（平成 22 年）

	平均寿命		健康寿命		日常生活に制限のある期間	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
高知県	78.91	86.47	69.12	73.11	9.79	13.36

生活習慣病

【国保における疾病分類項目別上位5位】

※入院・外計の県との比較：全年齢男女

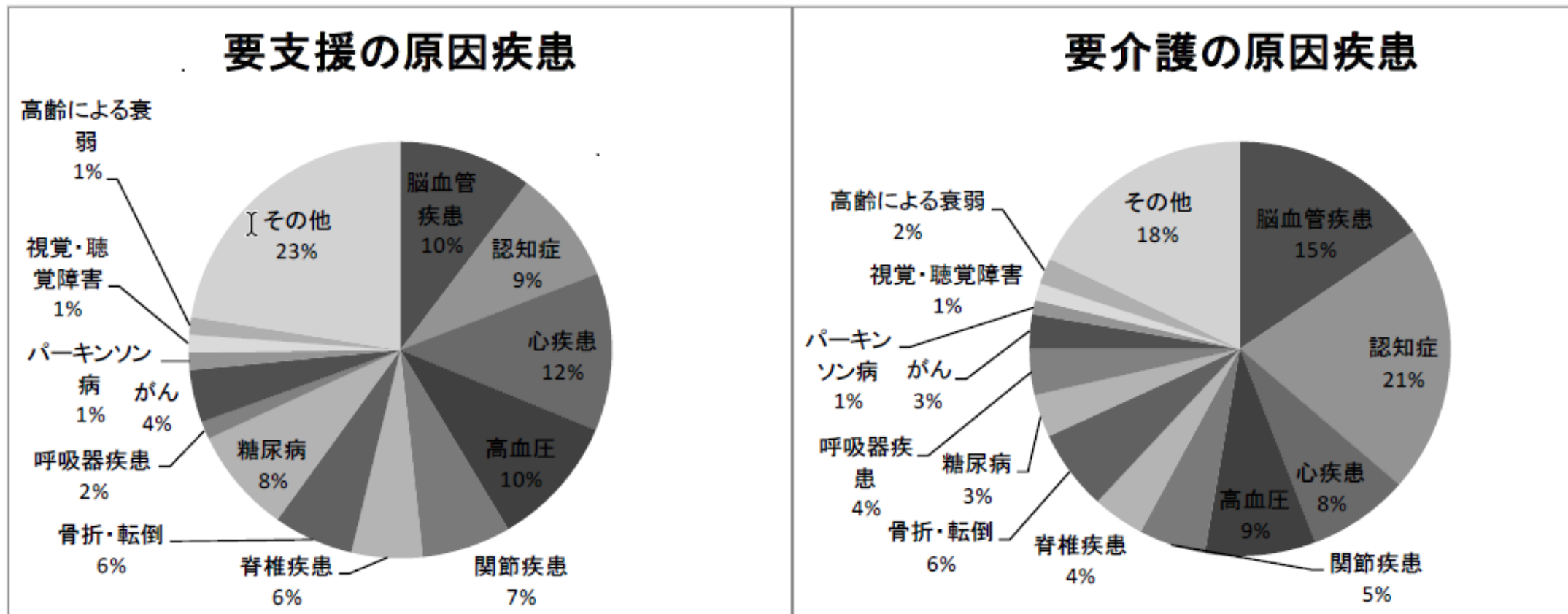
順位	南国市		高知県	
	件数	費用額	件数	費用額
1位	高血圧性疾患 (15.31%)	高血圧性疾患 (7.35%)	高血圧性疾患 (15.29%)	統合失調症 (7.66%)
2位	歯肉炎及び歯周疾患 (9.88%)	統合失調症 (6.96%)	歯肉炎及び歯周疾患 (11.42%)	高血圧性疾患 (6.29%)
3位	糖尿病 (5.16%)	脳梗塞 (5.11%)	糖尿病 (4.64%)	歯肉炎及び歯周疾患 (4.92%)
4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 (3.92%)	歯肉炎及び歯周疾患 (4.11%)	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 (4.03%)	腎不全 (4.28%)
5位	皮膚炎及び湿疹 (3.09%)	その他の悪性新生物 (4.00%)	その他の眼及び付属器の疾患 (2.97%)	その他の悪性新生物 (4.03%)

(「2014 高知県国保のすがた」平成26年6月審査分)

国保被保険者の疾病分類は件数、費用額ともに1位は高血圧性疾患
 南国市では県全体より脳梗塞が多く、費用額は3位
 歯肉炎及び歯周病疾患も件数では2位、費用額で4位

生活習慣病

【要支援・要介護別の原因疾患】

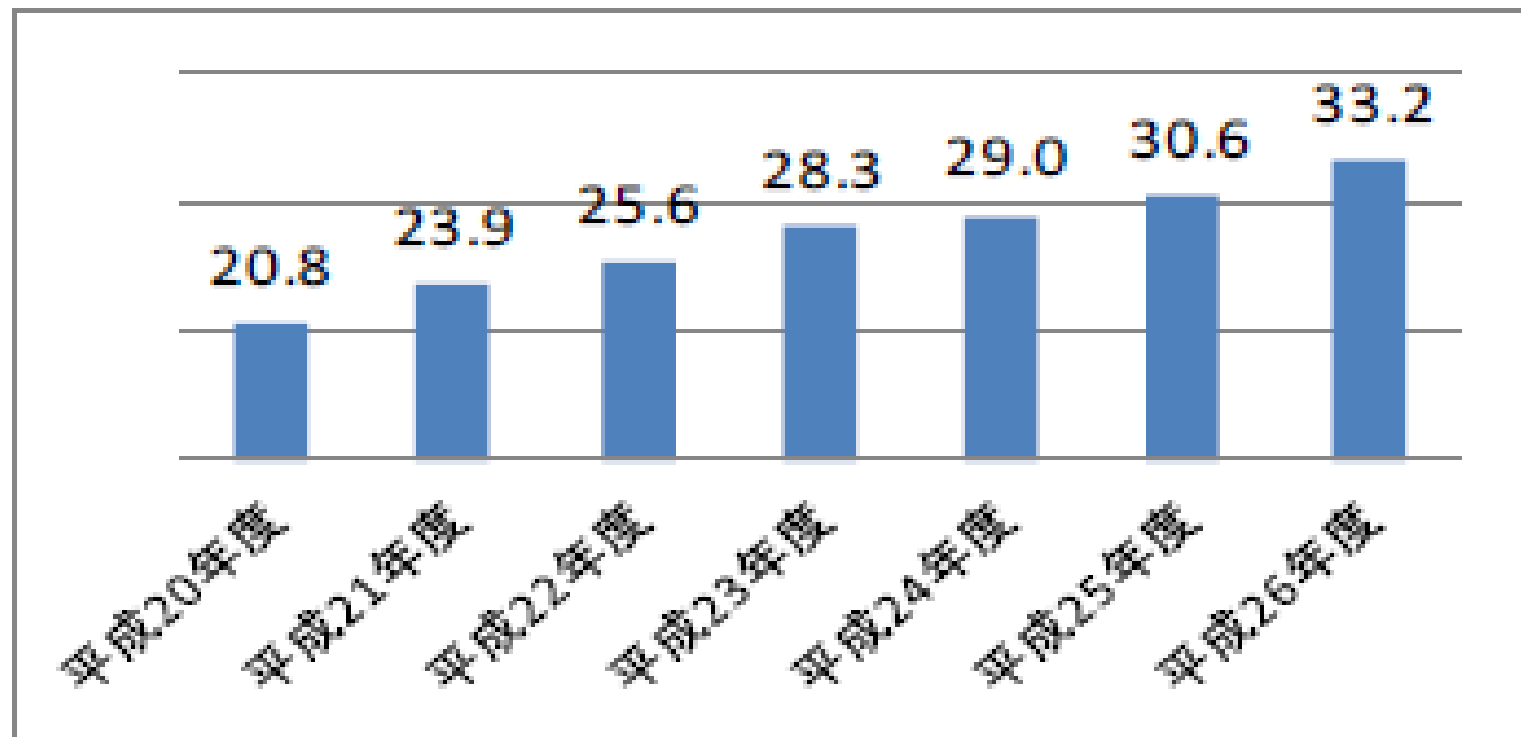


※一人が複数の疾病あり

要介護、要支援に至る要因は、脳血管疾患と認知症が最も多く、心疾患、高血圧と続き、ほとんど生活習慣病が原因。

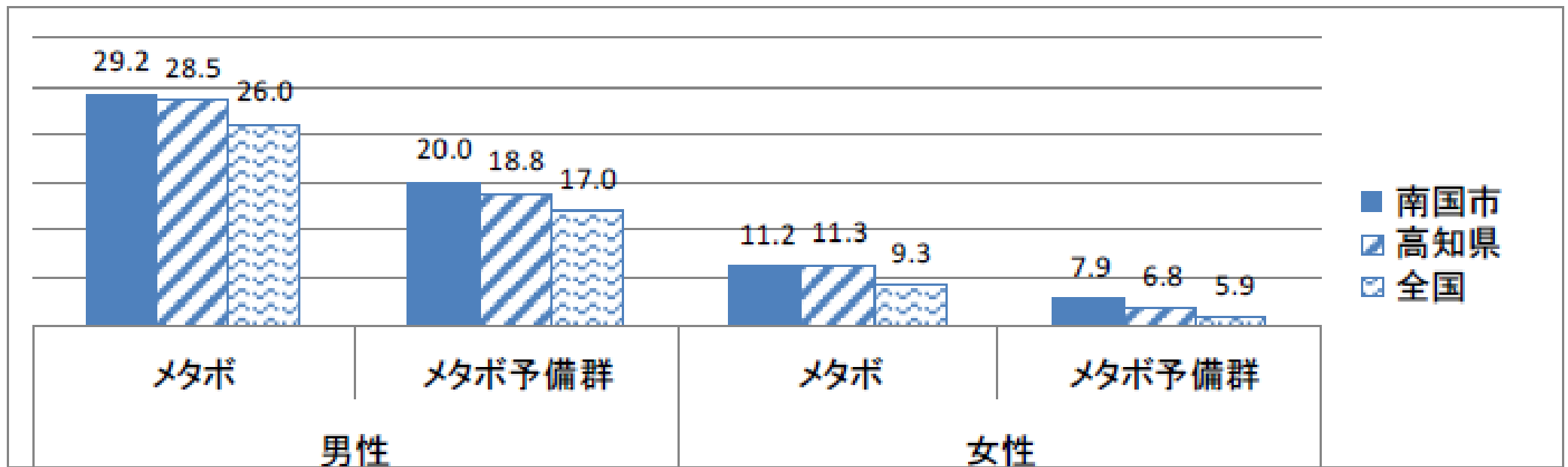
特定健診の受診率

【特定健診の実施状況（受診率：％）】



メタボの割合

【平成 26 年度特定健診結果によるメタボ該当者とその予備群の割合】 (%)



(国保データベースシステム)

子供の健康

【周産期死亡率と実数（全国・高知県・南国市比較）】

	全国		高知県		南国市	
	率(出産千対)	実数	率(出産千対)	実数	率(出産千対)	実数
平成23年	4.1	4,315	5.7	30	11.6	4
平成24年	4.0	4,133	4.6	24	10.9	4
平成25年	3.8	3,862	4.9	26	10.2	4

(高知県健康づくり支援システム)

【学校健診データ】

身長は全国平均より少し低い傾向

体重は少し重い傾向

尿検査結果が異常となる生徒の割合がここ数年高い

第4次総合計画 健康・福祉のまちづくり

基本目標2 健康・福祉のまち

- 1 地域福祉の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 高齢者支援の充実
- 4 障害のある人への支援の充実
- 5 社会保障の充実
- 6 健康・保健活動の充実
- 7 地域医療体制の充実

◀ 主な施策 ▶

- ・住民の健康づくり・生きがいづくりの推進
- ・地域における子育て支援の充実
- ・高齢者の社会参加の推進
- ・国民健康保険の健全運営と医療費の適正化
- ・母子保健の充実
- ・地域医療体制の整備



南国市健康ポータル事業の概要

母子健康情報サービス

前橋市母子健康情報サービスの横展開



- ・母子健康手帳の情報をスマートフォンやパソコンで確認
- ・乳幼児健診の結果、予防接種の履歴は市がデータを登録
- ・育児日記として利用
- ・家族で成長を共有
- ・市からお子さんに応じた予防接種や健診のお知らせ、イベント情報などをプッシュ型で配信

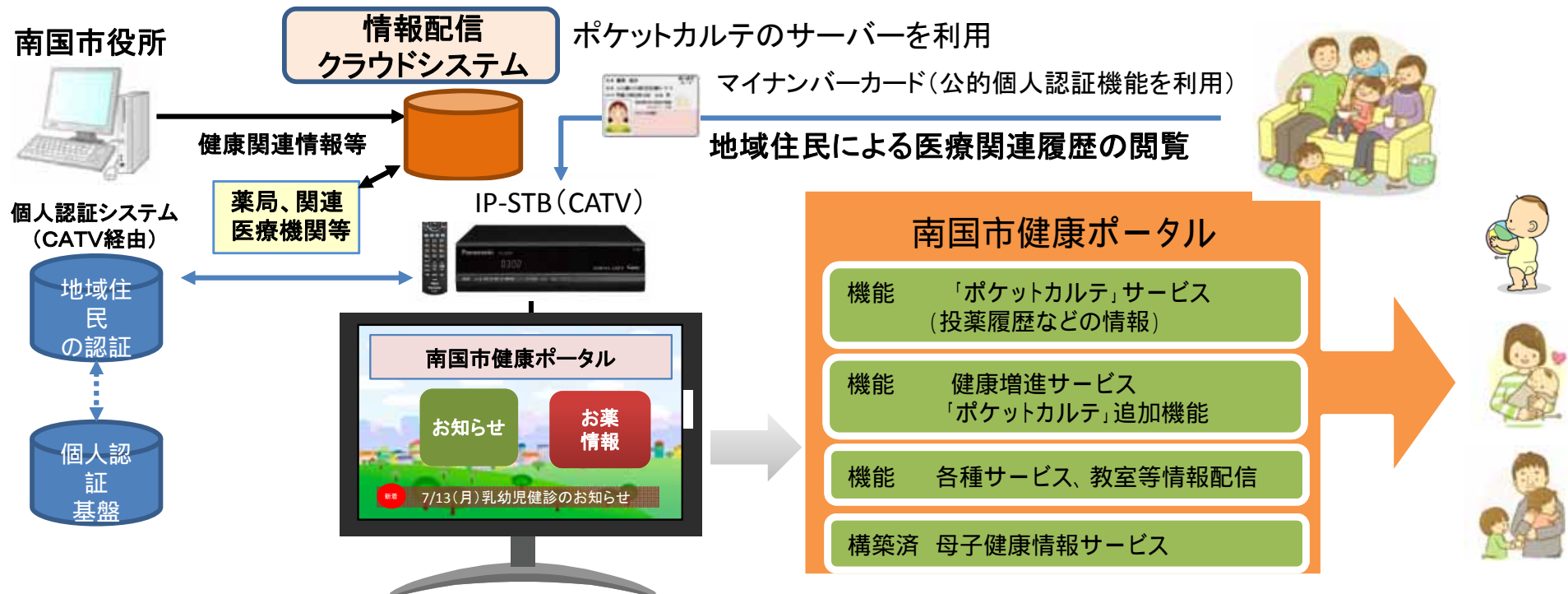
お薬情報サービス

ポケットカルテの横展開

事業概要

南海地震等による地域住民の医療関連情報の滅失を防ぐため、クラウドを利用して情報を蓄積し、併せて市からの健康関連情報の提供機能を整備することで、地域住民が各種医療・健康管理情報をテレビやパソコン、スマートフォンで提供・閲覧できるサービスを実現する。

将来的には、母子健康情報サービスとも連携し、市民が自身の生涯にわたる健診情報、お薬情報などを管理できる仕組みを目指すとともに、地域の医療・防災に役立つ仕組みを構築することを目的とする。本年度事業として地域情報化大賞()を受賞したポケットカルテの「電子お薬手帳」の構築を行う。



南国市健康ポータル事業



- 自治体からのお知らせ配信機能と共に、各種健康管理をテレビで提供できるワンストップポータルサービスを提供。
- 地域の医療・防災に役立つ仕組みを構築。



- ②お知らせ一覧画面
- 利用者の属性に応じた自治体からのお知らせ情報一覧を確認できる。



- ③ポケットカルテ
- 対応した薬局で処方されたお薬の情報を簡単に登録し、履歴を管理・閲覧できる。

マイナンバーカードの利用

- 安全確実で便利な個人認証
- PHRの推進
- クラウドサービスによるビッグデータの蓄積

目指す成果と課題

さらなる横展開に向けての課題

- 複数のクラウドサービスを一つの目的で使うためには
- マイナンバーカードの普及が先かサービスが先か
- QRコード、医療情報
- 個人の健康に関する情報の記録
- 使いやすさとデータの正確性の担保
- 経費負担

南国市健康ポータルを目指すもの

